

イケラブ

2013年9月
第2号

【発行元】
池田町
商工会青年部

事務局
572-2135

ワイン祭り40周年



今年、十勝ワイン誕生から50周年を迎える、記念すべき年となりました。

昭和38年に自治体では初となる果実酒類試験製造免許を取得し、町内で採取した山ブドウで第1号ワインを仕込んだことから始まりました。技術を継承しつつ、今日まで絶え間なく続く試行錯誤の結果、数々の素晴らしいワインを開発・製造・販売

できました。また、ブドウの収穫とワインの仕込みが最盛期となる10月には、「秋のワイン祭り」が毎年開催されています。昭和49年に、ワイン城の完成を記念して城の前庭広場で開かれた祝賀会が最初であり、今回で40周年を迎えることになりました。池田町を代表とする「元祖牛の丸焼き」を始め「ワインの飲み放題」を代名詞とした知名度の高さは観光客が訪れる一つの要因となっています。

町民と共に歩んだ50年。これからも進化し続ける十勝ワインを、大切にしていきたいですね。

十勝ワイン、100年へ向けて出発です！

参考・十勝ワイン・ジェネシス



部員紹介

北海道電力池田営業所 池田真悟

池田町を愛してやまない ナイスガイ



北海道電力池田営業所に勤める池田真悟さん(39歳)は商工会青年部賛助部員※

13年前に青年部に入部し3年間活動、その後帯広・根室など転動を繰り返して、そしてまた池田町に帰ってきた鮭系男子である。好物は「よねくら」のカツスバナポリタン(大盛り)。

池田さんが青年部に入ったきっかけは北電の後輩から青年部への引き継ぎを頼まれての入り。当初は不安でしかたなかったそうだが、当時の部員たちといろんな交流(道内・道外研修、Tさんに飲み连接到行ってもらった等々)しているうちに馴染んでいったそうです。

3年間の活動後、池田町を離れたときにも、心の中に青年部員の笑顔が浮かんで来て、ワイン祭りに行きたい、青年部とまた活動したいと思い、帯広、根室勤務中にもお土産持参で手伝いに来てくれていたという、池田町を愛してやまないナイスガイ。

※青年部賛助部員とは、商工会員や後継者でなくとも、池田町にお勤めで青年部の活動に賛同していただける方なら入部できる制度です。



◎青年部では池田さんの様な若者をいつでも入部大歓迎です!

レストランよねくら

「豚丼」(八四〇円)



今年で創業108年の老舗「レストランよねくら」さん。数ある人気メニューの中から豚丼を美食。程よい焼き色の付いた厚切り肉は、噛めば柔らかく肉汁が出て絶品。山椒のアクセントと、甘いタレの染み込んだご飯にマッチして深みのある味！オススメ！



ニュールート

「ワイン丼」(六六〇円)



国道242号線沿いにありますニュールートさん。おすすめを伺うと「ワイン丼」との事で、迷わずオーダー。ワインの香りと共に肉が卵でとじられているワイン丼が登場！ほのかなロゼワインフレーバーが良い！癖になる味。



池田の

丼特集

ご馳走家ゆたか

「究極の

とろとろ半熟親子丼」(九八〇円)



ご馳走家ゆたかさんのおすすめ丼は「究極のとろとろ半熟親子丼」濃厚でとろとろな有精卵の半熟卵、噛むほど味が出てくる比内地鶏、ダシのきいた割り下。三位一体のおいしさに自分の舌もおなかも大・大満足です！

ガッツリ食べろぜ



青年部員が(自腹で)突撃実食レポート!!

お食事処 香味屋

「豚の天丼」(八四〇円)



昭和43年創業の老舗「香味屋」さん。豚肉を天ぷらにした「豚の天丼」という、ここでしか食べられない逸品メニューを、さっそく実食。一口食べると、中はジューシー、外はカリカリ、甘めのタレがピッタリマッチ！豚肉を天ぷらにするってこんなに幸せになれるなんて知りませんでした。一気に完食。ご馳走様でした！

しなだ食堂

「海老天丼」(一、一五〇円)



しなだ食堂といえば豪快な盛り。その中でも海老天丼は迫力満点です。ブリんつとしたエビがドドンと5尾も横たわっているではないですか！海老を食ったぞーという幸福な気持ちでいっぱいになること間違いなしです。是非是非お試しあれ。



編集後記

自然消滅かと思ったイケラボ。無事第2号発行です！さて、もうすぐワイン祭りですがチケットはすでに入手困難状態です。まだ欲しいという方は、商工会関係の知り合いにでも聞いてみて下さい。もしかしたらゲットできるかも。年々、ワイン祭りのチケットが早い段階でソールドアウト。お手伝いしたい方も募集中！